

こころとからだを育てる

和太鼓

～よく見る よく聴く よく考える～



社会福祉法人 福島敬香会

福島敬香保育園

【保育理念】 「子ども一人ひとりのねっこを育てます」

愛情という肥やしを含んだ土壌から栄養を吸収し、たくましく成長する子どもたち。
ロゴマークに込めた思いとは、



福島敬香保育園
Since1919

- 個性を活かしそれぞれの花を満開に咲かせてほしい。
- 園の歴史をらせん階段のように続く三色の輪として(過去・現在・未来)表現。
保護者・地域の皆様、そして職員が一つの輪となり協力しあいながら、子どもたちを見守り、慈しみ育てていきたい。
- たくましく立つ木の幹は、子どもたち。愛情いっぱいの大地に根を張り、
【未来】をその手でつかみ取ってほしい。
- いつでも人に優しさを、そして笑顔を忘れないよう、幹には輝く笑顔。
- 子どもたちの手から放たれた、色も大きさも違う葉は個性。
自分の個性・友達の個性も大切にしてほしい。

様々な願いが込められています。

～見事な花が咲きますように～

はじめに...

大正8年に開設、令和元年5月創立**100**年を迎えた。福島市の中心部に位置している。近隣には高校があり、和太鼓が次世代の交流の中の一つになっている。

近年は、園周辺にアパートなども増え以前とは環境の変化を感じている。

◆和太鼓の響きは、子ども達の心を揺さぶり感性を豊かに育み、たくましいところと身体を育てている。



今までの経緯

- 竹太鼓を使用し、「敬香太鼓」を夏まつりで発表
- 平太鼓・宮太鼓を使用し「龍神太鼓」をお遊戯会や福島成蹊高校主催のふれあいコンサートで披露
- 平太鼓9台・宮太鼓4台・締太鼓4台をそろえ、本格的に導入
- 平成28年 全日本幼児教育連盟に講師を依頼し、園児（3.4.5歳児対象）・職員講習会を開催（年2回）
- 全日本幼児教育連盟 日本太鼓指導ライセンス3級取得（保育士2名）
- 曲太鼓・創作太鼓「敬香まつりだいこ」「こどもはやし」の三曲を主に年間を通じて練習・披露している。



【園内行事での発表】

- ・夏まつり・運動会・発表会

【外部発表の機会】

- ・福島成蹊高校主催「ふれあいコンサート」
- ・町内会（腰浜町・上浜町・豊田町） 敬老会・太鼓保存会・いきいきのつどい
- ・高齢者介護施設（敬愛シニアガーデン・まちなか宝生園・シニアスタンダーズハウス・ケアパートナー福島・特別養護老人ホームなごみ・デイサービスセンターおぐらじ）

★介護施設訪問にむけて和太鼓演奏だけでなく、「高原列車は行く」「とんがり帽子」など、福島ならではの一緒にうたえる歌を覚えたりしました。

園児にとってはひいおじいちゃん・ひいおばあちゃんくらいの年齢の方達。お互いに触れ合う機会は少ない世代です。初めての訪問は、子ども達の緊張が手にとるようにはわかりました。初めての訪問は、子ども達の緊張が手にとるようにはわかりました。車椅子でホールまで移動されてくる利用者の方々を見て、表情もどことなくこわばった様子の子も達。演奏後にはドキドキしながら握手をしてお別れしました。

保育園に帰ってから...「泣いてるおばあちゃんがいた」と子ども達。「一緒に歌ってくれた」「ランランのところ、手拍子してた」と次から次に感想がでてきました。握手したおばあちゃんの手は「シワシワであったかかった」そうです。

施設の職員の方からは「ベッドで移動されていた利用者さん、認知症の症状もありほとんど笑うことがない方なのですが、笑ってたんです。子どもさんのパワーってすごいですね」と言うお話をいただきました。

子ども達にとっても貴重な経験になる施設訪問。回を重ねる度に自信がついて、最初はおそるおそる手をのばしていた握手も、積極的にそばに行き、抱っこしたりハイタッチしたりするようになりました。

【和太鼓の目的】

- ・日本の歴史・伝統文化が学べ、豊かな表現力が身につく。
- ・音を合わせ、心を合わせることで協調性が身につく。
- ・全身運動なので、体幹を鍛えたり姿勢が良くなる。

♪ 和太鼓は身体作りができます！

手・足・口など身体の各部分を動かす様々な感覚をフル活用します。手だけでなく心も身体も全部を使うので、心身共にたくましくなります。

♪ 和太鼓は協調性を養います！

リズムと動作を、お互いに良く見たり聴いたりする力がつき 協調性を養います。音も動作もぴったり合った時の一体感・達成感は最高の経験。

♪ 和太鼓は自信を培います！

「できた」「楽しい」という気持ちが次のステップの原動力になります。

人前で力いっぱい演奏し、拍手をもらうことは大きな自信に。

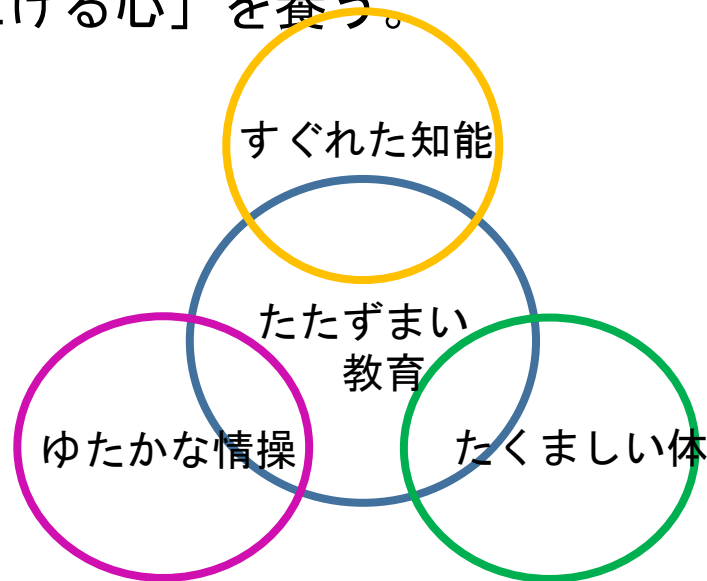
『拍手はごほうび』



《挨拶・マナー・けじめ・忍耐力・協調性を培う「たたずまい教育」》

全日本幼児教育連盟が主唱する「幼児音体教育」とその基盤を成す「たたずまい教育」をもとに和太鼓の練習に取り組んでいます。

- ・ 目的を達成していくプロセスを通じて「たくましい体」「ゆたかな情操」「すぐれた知能」を兼ね備え、生き生きとした人間性豊かな子どもを育てることが目的。上手に叩くことが結果ではなく、発表に至るまでのプロセスを大切にして、「みんなで一つの作品を創り上げる心」を養う。





♪指導のポイント♪

- 挨拶や返事がきちんとできること。
- 用具や楽器を大切に扱い、勝手な操作をしないこと。
- ふざけたり、おしゃべりしないことを約束し、練習に集中すること。
- すぐに出来なくても粘り強く取り組むこと。
- 先生の顔をよく見て話を聞き、開始・終了の合図を聞いて合わせること。
- 練習の準備・片付け、用具・楽器の手入れ、掃除などを進んで手伝うこと。



これらは現代の日本人に欠けている基本的な所作です。

♪ **まずは約束！** 「よく見る・よく聴く・よく考える」

- ・背筋をのばしてバチをそろえ、気をつけの姿勢
- ・礼に始まり礼に終わるが基本

よろしくお願いします ありがとうございました の挨拶は、テンポよく歯切れよく心をそろえて言うこと

♪ **バチの持ち方・足の開き方・かまえ方の練習**

- ・バチは軽く握り、端はいっぱいを持たずこぶし一つ分くらい空ける
- ・足は肩幅より開き、左足を前方に一步出し、左ひざを曲げる

～まだまだ本物の太鼓は叩けません～

♪ **口唱歌**

- ・リズムを声に出して歌ってみる

♪ **手拍子で打ってみる**

- ・打つところ、休むところがわかるよう手拍子で叩いてみる

♪ **新聞バチで叩いてみる**

- ・新聞紙で作ったバチで、左右を確認しながらリズムを叩いてみる



～やっと本物の太鼓を叩けるときが来た！！～

♪ **体の使い方を実際に叩いてみて覚える**

- ・ 鼓面にバチが当たった瞬間にバチをしっかり握り、弾む力で跳ね上がるようにする
- ・ 余分な力を入れないなど、実際に体で覚える

♪ **リズムを口で歌いながら叩く**

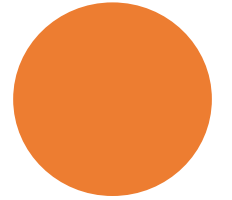
- ・ 歌う・叩くという2つの動作を同時にする
- ・ リズムを覚えたら、歌わずに正確に叩き、かけ声にも集中する

♪ **音を聞いて合わせる**

- ・ 先生の下打ちのリズムをよく聞いて叩く
- ・ 友だちの音を聞いて合わせようとする

♪ **強弱・ポージングを意識する**

- ・ 「音が1つに聞こえた」「少し早くなった」など音の違いがわかる
- ・ かっこよくみせるにはどうしたらいいかを考える



8拍目にバチを合わせる
タイミングがどうしてもつかめない
Nちゃん。自分だけ合わないことに気づき、
家でも新聞のバチを作って練習しているとの
こと。お母さんから「ここができないの」
と悩んでいるとのお話がありました。

いつしか「1・2・3・4」と皆が声に出
してカウントをしたり、「7の次にハイ!だ
よ」と一緒に動いたりしながら教えあう姿が
見られるように...

皆のおかげで出来た時には拍手がおこ
りました。

【年長に進級してすぐのこと】

子ども「先生、いつになったら太鼓やるの？」
保育士「お約束をきちんと決めてからね」

【隣の高校がテスト中のため練習はお休み】

子ども「今日は太鼓やらないの？」
保育士「お兄ちゃんたちテスト中だから...」
子ども「お昼寝の後なら大丈夫でしょ？」
子ども「毛布かけて叩けばいいんじゃない？」

【そろそろ卒園が近づいてきたころ】

子ども「まだまだ青組（年中さん）にはバチは渡せ
ない」

4人だけで叩くイントロのパート、先生が叩いたお手本をす
ぐに叩けたKくん。「すごいね！」と褒められていたのを悔
しそうな表情で見ていたYちゃん。その日から自由遊びの時間
になると、一人で新聞バチでイスを叩くYちゃんの姿が、毎日
見られるようになりました。

数日後、「先生ちょっと来て！」とYちゃんに呼ばれ、行っ
てみると...「できたよ」と自信満々に難しいリズムを叩いて
います。毎日の自主練の成果！

出来た時のYちゃんの誇らしげな表情、4人のメンバーに選
ばれた時の満面の笑みが印象的でした。

曲太鼓で「銀河鉄道999」に挑戦！
ちょっと懐かしめの曲ですが、「パパの携
帯で聞いた！」と張りきっているSちゃん。
でも「保育園のと違うって言うんです」
とお母さん。もしかして...と思ったら、
やっぱり最近の曲を聴いていたようで...

「昔の曲です。ゴダゴゴの方...」

子どもたちの姿から 保育士も学びます

「大きいステージ、ド
キドキしたけど...いっ
ぱい拍手をもらって気
持ち良かった!!」



★小さいクラスのおこがれの的★



年長児クラスの太鼓の音が本格的に聞こえてくると、乳児クラスでは細長いブロックやままごとの食材を両手に、壁やお鍋を叩く可愛らしい姿が見られます。3～4歳児は新聞紙を固く巻いた新聞バチを一人ひとりロッカーに持っていて、自由遊びになるとこぞって椅子を叩きはじめます。

子ども達の中で「先生の役」「号令をかける役」「上手に叩いてる〇君の役」「順番を王子様ポーズで待つ役」などの配役を決めた【ごっこ遊び】にもなっていて、良くみているなあと感心してしまいます。

憧れの年長さんを真似した 「気をつけ！ ハイ！」 「礼！ よろしくお願ひします！」 可愛らしい声

小さい頃から耳にして体にしみついてる太鼓の音。見て・聴いて・真似をして育ち、年長組になってようやく叩くことが出来る憧れの太鼓なのです。

★先生たちだって本気です！！★

子ども達の憧れとなるよう、お手本となるよう、職員の太鼓チームもあります。



創作太鼓：「躍動」「輪舞曲」「暁」
曲太鼓：「Festivo」「Sing Sing Sing」「情熱大陸」



などレパートリーはたくさんあります。

☆教える・演奏する・見守る... 職員の思いもたくさん溢れます☆

- ◎生活の中でなかなか自分の力を出す場のなかった子が、自分の力を発揮し自信を持てるようになる姿に感動する。普段目立たない子がセンターポジションに！
- ◎元気なかけ声が聞こえてくると、自分自身も元気になれる。
- ◎できなかった子ができるようになる姿に勇気をもらえる。
- ◎表情の変化・音の変化・できた時の喜びを身近に感じ、子どもと共有できる。
- ◎異年齢児交流という意味でも、保育の中で大切な活動になっている。
- ◎他の習い事でも、挨拶がきちんと身につけていて驚いた。（語先後礼）
- ◎実際に叩いてみると、思ったより姿勢がツライ...でも楽しくてストレス解消になる！大きな会場で演奏してみたいなあ...

和太鼓年間計画

4月	基礎作り	挨拶・姿勢の練習バチの持ち方・かまえ方
5月	講習会	たたき方などの実技指導(3.4歳児はバチ遊びなど基礎)
6月	曲太鼓の取り組み	流行曲・福島ゆかりの曲などに合わせての演奏を練習
7月	夏まつり披露	元気よく!
8月	創作太鼓へステップアップ	「敬香まつりだiko」リズムのみの曲を練習
9月	運動会披露 施設訪問に向けた練習	施設訪問に合わせて小規模編成、昔ながらの曲を練習
10~ 1月	地域との交流・施設訪問 フォーメーションをステップアップさせた創作太鼓 発表会披露	高齢者施設・町会イベントへの出張演奏 こどもばやし:移動しながらの演奏(流れ打ち)や弓引きポージングに挑戦!
2~ 3月	保護者向け発表会 【バチ】移譲式	【♪魅せる演奏♪】 集大成として発表の場を設ける

こうして伝統は引き継がれていきます。 そして 未来へ...

「遊びの中で無理なく楽しく生活経験をさせてあげることがよりよい教育である」という音体教育に参加し、これからも「楽しく学ばせること」で本物の感性を育てていきます。

よく見て よく聴いて よく考えて

練習を重ねる度に・拍手をもらう度に、その経験が子どもたちの自信になっていきます。節目ごとに保護者の方や地域の皆様に、演奏を聞いていただきたい・子どもたちの凛々しい姿をみていただきたい...

そのためにも市内外の皆様に情報を発信し、大きな会場での演奏やイベントの参加などを目標にしていきたいと思っています。

